

今週の富大生

Weekly TOMIDASEI

第47号

人文学部 人文学科
英米言語文化コース 2年
富山県立富山高等学校
(富山県)

海外短期研修を経て、自信を持った英会話



やりたいことができる地元の大学へ

中学の時から英語が得意で、英語の勉強することが楽しいと感じていました。実際に海外に行って話してみたいと思っていました。

大学進学は、地元である富山が好きであること、英語の勉強や留学にチャレンジできる環境であることを優先して考えました。富山大学人文学部を受験し、進学することを決めました。

実家暮らしだからこそ自立を

実家からの通学で、頼れる人が身近にいる環境だからこそ自立することを大切にしています。実家暮らしとはいえすべてが自己責任なので、寝坊をして授業に遅刻したことがありました... (笑) 家族にも心の拠り所として支えてもらうことは多々あります。しかし、自由な時間が増えたからこそ自分の行動や選択に責任を持つよう心掛けています。

富山大学の英語研修制度を利用し 多民族国家、マレーシアへ

学部1年次修了の3月に、「学部1年次対象短期海外英語研修」に参加しました。マレーシアのプログラムを選びました。高校生の時に富山大学の短期英語研修プログラムについて事前に下調べをしていました。高校生の時はコロナ禍と重なり海外研修の機会がなく、大学では絶対に参加したいと思っていました。

これが私にとっての初海外でした。昔から英語が好きでしたが、日本で生活していて実際に使う機会はほぼありません。緊張しながらも、マレーシアで英語を使うと「ナチュラルに発音するね」と現地の学生たちから褒められました。そのことが自信につながり、英語の勉強がさらに楽しいと思うようになりました。帰国後も、英語を話すことへの抵抗感が減りました。マレーシアの大学では、英語の授業のほかに異文化交流の授業や、理系の講義を受けることが出来ました。日本での学びとの違いを感じ、より視野が広がりました。

自分たちで立ち上げたダンスサークル

中学、高校の時から生徒会や体育祭、ダンス部の活動でリーダーを務める中で「自分で何かを決めて周りを巻き込みながら、積極的に行動することが合っている」と感じていました。

昨年冬に、留学生を交えて、自分たちのペースで活動できるダンスサークルを立ち上げました。自分たちで日程調整をし、活動場所を探しました。

私のことを一番近くで見ていた家族にも、自分からやりたいことに挑戦している姿が一番生き生きして、楽しそうだねと言ってもらっています。

現在20人ほどのグループになりました。大学祭や県内のイベントにも出られるようになりたいです。



母校の後輩たちへ

どんな進路を選んだとしても、「自分がどうなりたいか」という軸を持つことが一番大切です。どんな大学生活を送りたいかをイメージして、進路を決めてください。

富山大学短期海外英語
研修プログラムについては
こちら

